

お寺さんと檀家

佛教徒にとってお盆は最大の行事であり、お寺さんと檀家の触れ合いのときであります。酒々井町には住職の居る寺院は九ヶ寺あります。長年月のしきたりによって、違いがありますが大体お盆には次の様なことが行われております。

①檀家はお盆になると、お寺さんに盆供を届けます。盆供は昔はお米が主でありましたが現在では金品が主となっております。額は分に応じて一定していません。

この際にお寺から盆供養ののためのフネを載せます。フネは終末に梵字が書いてあり、佛壇に、みそはきと共に器に水を入れて浸して供えます。

②お寺さんは十三日と十五日に全檀家を廻り、棚供養をします。この際にも供養料として金巻封を献じます。

方法 形式は、習慣によって異なりますが、以上が、標準的のようです。

施餓鬼

一般の家の盆は終わっても、新盆の家には施餓鬼が残されております。施餓鬼の意味については省略しますが、施餓鬼の日



には親戚と近親者がお手に集り供養のための誦誦とあげます。誦誦は多いほど功德になるといわれて親戚縁者の名が多く前もって届けられ一定の納金をさされてあり、それを当日お坊さんが誦誦する行事であります。施餓鬼の供養日は寺院によって異なります。

- 八月十五日 大佛頂寺、経胤寺、妙楽寺
- 八月十六日 吉祥寺
- 八月十七日 東光寺、清光寺、浄泉寺
- 八月十八日 妙胤寺
- 八月二十二日 東依院

以上、酒々井町の盆行事のあらましを書いてみました。(相京記)



金杉 智恵

何気なく見過していた道ばた、荒地、山裾などにひっそりと咲いている草々の花の名を知るにつれて親しみ深さがいよいよ深まってきました。さわやかな初夏を迎えて今号では次の二つをとりあげました。

オカトラノオ

丘陵地から山の草原に多い花で垂れに大きい白い花の穂はよく目立ち、その姿が虎の尾に似ているのでこの名がある。夏の草では馴染み深く一輪ごととしても風情があり初夏の花として愛される。

オカトラノオ



ホタルブクロ

野や山裾などに多く見られる花であるが、近年はめっきり少なくなつたのがさびしい。提灯花という人もあるが、本名はホタルブクロである。子供がこの中にホタルを入れたというのがいちばん通用している。



花は白色が普通であるが、伊藤近には紅紫色のムラサキホタルブクロも見られる。

素朴さが愛されて茶花となり、また庭の一隅などに植えられると螢がとんできそうな自然が感じられる花である。





支部だより

青木 朝次

下岩橋支部誕生の記事拜見、郷土研発展の爲、何よりと存じます。

中川支部も昭和五十五年一月、金杉智恵さんの発案で、会長さんをお迎えして発足しました。以来毎年一月に支部新年会を開き、千円の会費で、さやかには宴を張り、本部会費の徴収と花見会(花見兼見学会)の打合せや懇談と云うより、おしゃべりや親睦を図っております。

事務部の事業は、花見会の視察と本部の計画等の報告や、各種見学会の見学記其の他を回覧にしておりましたが、二十六人の会員では一月休かゝるので最近は一ヶ月休んでおきます。

会員全員気が持良く仲良く楽しくやっておりますが、何よ、残念なことは段々と年齢となり、花見会や見学会に出席できない人が多くなつた事ですが、其の人達も見学記を読むのが楽しみとの声に氣を良くして頑張っている今日この頃です。

歴代町長墓参

青木 喜作

郷土研では本年度新しく標記の行事をすることにしました。

苦勞して、我が町をきづき上げられた先人の遺徳をしのび感謝するまことに結構なことである。第一回は四月三十一日に行われた。まず東光寺で七代石渡さんの墓にまいり、次は二十五代古川さんの墓参。古川さんは終戦をはさんで在職され特別にご苦勞が多かつたと思われる。一方俳人として柳哉と号され朝野会などもお世話下さつた風流人で、墓石には辞せの句「柳散るや川の流れば 悠久にしがほつてある。」



つづいて初代と四代の二期つとめられた宗島さんの墓参。初代はセロからの町政で予算や茶例などを作つたり大変なご苦

勞であつたことであろう。かえりに宗島さんの新宅でお茶とお菓子のご接待をいただき、昔の思い出話などをきき、一同感激して次を目ざして出かける。十八代高崎さんの墓参をすませ、十代飯沼さんの墓におまいる。飯沼さんは昭和十四年に亡くなられ、あとをつかれた喜久蔵さんは翌十五年、前の役場の庁舎と敷地を町へ寄付されている。供養のためだつたのでしようか。一回はこれで終り、

二回は五月三日である。

始めに六代若林さんの墓にまいり、次に二十四代、二十九代の木内さんの墓参、それから五代鶴岡さんの墓にまいり、清光寺に向う。筋さんの墓参である。二代の吉部さんとその子の半蔵さんが十三、十五、

十六代で更にその子の文雄さんが三十、三十一代と孫子三世にわたり、その上向う店の芳太郎さんが十七、十九代と、また新屋敷の義三郎さんが二十、二十一代と五人の者が十代にわたつて町長をつとめられたわけで、三十一代までの内三分の一を筋一族でおつとめになつたわけである。ちなみ

に現町長は、三十二代からである。筋一族の内でも特に半蔵さんは教育に熱心で、当時千葉県庁発行の文書にのせてある事を簡単にまとめると、(一)学校の門柱、門扉と講堂体操場一棟を寄付し、(二)児童保護会を設け、白米二石と金二千三百円を出し、(三)青年会を起して社会教育につとめて、

「篤志ト謂フベシ」とある。次いで二十七代高崎さんの墓参である。高崎さんは妙胤寺の住職であつた。寺は現在無住になつているが、加藤清正の等身大の像が安置されており、近隣の信仰をおつめているという。

第三回は八月十日(土)が予定されているので多数参加下さい。

会計報告

- 山菜を食べる会(4/25)
 - 会費 500円 x 58人 = 29,000円
 - 材料費 28,543円
 - 差引残高 457円 郷研へ
- 野田地方見学会会計(6/11, 14, 19)
 - 会費 A.B.C班 117人参加
 - 1,000円 x 117 = 117,500円
 - 支出 バス代 95,175円
 - 駐料 料 費
 - 揮親料 費
 - 差引残高 22,325円 郷研へ



野田高
バス見学会

武藤厚子



郷土研の子定表を手にした時、何年前に「ただいま」五月の社会見学会は野田のしょう油工場だ、と子供から二度も聞かされ、お弁当を作った事があったなあーと思ひ出しております。

由し込んでから今日の日まで随分と待たされた様な気持ちで胸のトキメキを感じながらバスに乗りました。八時三分ひたりの出発はさすが郷土研の見学旅行であった。

野田のしょう油工場に入ったとたん大豆のゆでた匂いがそこはかとなく漂い、昼前の小腹の空いた私には「あ、少し口にいりたい」という気持ちを押さえるのが精一杯であった。工場に入り掃除のゆき届いた廊下を進み色々の工程を窓越しにのぞき、あつという間の時間でした。見学する前にスライドで説明を聞いておりましたのでなんとか理解することができ

きました。さらに瓶詰等をしてある所も見せていただけたり、と思ったのは私一人だけだったので、日本人の一年間に使われるしょう油の量は一人当たり十一リットルとは驚かされました。

野田を後にし、緑美しい清水公園で食事を済ませ、今日最後のコース関宿の鈴木貫太郎記念館へと足を運びました。感慨深げな顔があちこちに見られ、「来て良かった」という声を耳にし、心の中で「そうですね」と答えに私です。

心配した雨にもあわず四時三十分、酒々井に帰って来ました。これから、この様な計画が立てられた時には、積極的に参加したいと思っております。



鹿見島や津軽
地方の方言は
聞いてもちよつと

判断に苦しみますが、酒々井町には難解な方言はないと思ひます。ラジオ、テレビの普及で子供達は勿論標準語での会話ですが、言葉の後に一寸オマケの一言が加わると

楽しい、郷土の言葉となつてきます。青木さんの集められた方言集を拝見しましたが、大体酒々井町に転入された方々でも首をかしげて判断しかねる様な方言はないと思われました。

例えば「甘い大きな大福餅を沢山食べよう、お腹一杯だ」が「アマエツカイ、デエフクモチをインベイクツテ腹イッペイだ」となる、この程度が日常会話として使われています。言葉の終りにオマケの様に付ける一言を柔かにのびして、親しみを加えている様にも思われます。「仕方がない」と言うことを「ジョウガメエヨ」と言ったり、度々使う言葉の一つです。

年上のく、小学校友達など路上で入し振りに交わす挨拶など、私の場合は特に親しみをこめて、酒々井言葉で挨拶をして近況を語ります。この様な時はつとめぞ方言らしい、語句を使つてまいります。

外国から来た人達に「アリガトウ」とおぼつかない日本語で挨拶をされると「まあー」よくも覚えて挨拶をしてくれたと嬉しくなります。地方には地方の言葉が

ドジョウ・ドジョウ



あり、耳にして一入親しみを覚え、たど一言でもお互に交す方言はとも大きな意義のあるものと思われれます。

これは茸と異なり、春も半ば過ぎに頃から晩春にかけて松林に出る。茸のように柄はなく、淡い黄褐色で丸玉状のものである。松の根元を手で掻くようにして掘りあてる。家では晩の味噌汁などに入っている。夜とぼし

苗代の苗が五種位に伸びた頃、夕方から明かりと針を用意して、ドジョウを交まに行くことである。針は突き針に竹や篠で柄をつけ、明かりは石油を燃料にカンテラとつけたり、びこ(松枝の脂のあるもの)を燃したりする。

蛙の鳴き声を聞きながら、ドジョウが動かせず眠っているところを夜九時から十時頃まで田の畔を突いて歩き回る。家を出るとき、おふくろに「クツクツ(蛇)にやられたいように、ゴム長靴をはいていけ」と注意される。





会田 秀雄



快晴に恵まれた五月十二日子定されていた名勝探訪が実施された。参加者二十九名の内、いっもながら女性が圧倒的に多かった。

湯島聖堂は本殿は儒教の聖人孔子をまつる孔子廟となつており中国風の建物は国指定の史跡。江戸時代の学者林羅山が作った先聖堂がおもりで、綱吉の命で官学となった。その後寛政年間に昌平坂学問所となつたが明治三年に閉鎖、高い石垣と深い緑に包まれひっそりとしており、現在はわずかに漢文漢詩の講習会に使われているようである。

神田明神は聖堂にほど近く丁度祭礼で各町内いろとりどりの半天、鉢巻でかけ声よろしく、神輿と境内に繰り込む壮観さといくくりと観ることができたのは予期しない儲けものであった。神田明神は天平二年の創建と、由緒ある古社で朱塗りの美しい権現造りの現社殿は、昭和九年

に再建されたもの、祭神は大乙貴命と少彦名命だが、のち庶民の守護神として信仰を集めに平将門が合祀されている。

湯島天神は泉鏡花作「婦系図」の舞台として一躍有名になったところ、境内には演劇人からの献木など合せて百数十本あり都内でも梅の名所となっている。また学問の神様として、合格祈願の絵馬の多きところも知られており、その絵馬が重り合ってひびいていたのが印象的であった。



湯島聖堂 本殿前にて記念撮影

根津神社には地下鉄根津駅より歩いて一〇分ほど、五代将軍綱吉が山梨県甲府にあって根津権現

をここにうつしにしたのでそれ以来このあたりも根津と呼ばれるようになった。戦災も免れて現存する本殿、唐門、西門など国の重要文化財に指定



れんげの花を酒々井にも
桃色絨緞を敷いた
ようにな「れんげ」
の田圃、川縁や野原。花を摘み首飾りや腕輪に編んだ幼き頃の楽しい思い出……現代っ子にも味わってもらうしようと、六月八日の運営委員会に於て郷土研

一寸聞いて下さい
具休案が出来上りました。お知らせしますので、よろしく協力の程お願い致します。

咲いたらステキ!!



郷土研日誌		
4月2日	古文書学習会	参加者 8名
11日	伊篠の松並木、松苗植樹100本	18名
13日	大所神社 周辺の自然環境保護 草刈り	8名
14日	石佛調査、上岩橋、飯積	6名
17日	山菜と食べる会 献立作り	10名
21日	歴代町長墓参、横町、墨、馬橋方面	18名
24日	山菜採取	10名
25日	山菜と食べる会	58名
5月3日	歴代町長墓参、酒々井、上岩橋方面	22名
5日	石佛めぐり 上岩橋、根津地区	12名
12日	名勝探訪 神田明神、湯島天神外	29名
20日	会報編集会議	6名
6月1日	古文書学習会	10名
8日	運営委員会、3/4学期事業計画	25名
11日	野田方面見学会 A班	38名
14日	野田方面見学会 B班	39名
16日	町内史跡めぐりハイキング	33名
19日	野田方面見学会 C班	40名

暑中
御見舞
申し上げ
ます
運営委員
一同

郷土研行事案内

60年7月~9月

	7月	8月	9月
古文書 学習会	5日(金) 午後1時30分 中央公民館	休	6日(金) 午後1時30分 中央公民館
石佛調査 石佛めぐり	28日(日) 午前9時集合 調査(雨天中止) 中央公民館集合	休	15日(日) 午前9時集合 石佛めぐり(雨天中止) 中央公民館集合
野草観察 名所探訪	21日(日) 午前8時(京成酒々井駅)集合 京成酒々井駅-上野不忍池弁天堂-東照宮 -清水観音堂-国立博物館・その他 (雨天中止)	休	22日(日) 午前8時(京成酒々井駅)集合 京成酒々井駅-浅草観音-隅田公園 桜橋-隅田川七福神めぐり 【弁当持参】(雨天中止)
歴代町長 墓参	8月10日(土) 午前9時30分 中央公民館集合(雨天中止・代替8月25日) 3・12代 岡田新吉(中川) 14代 木村伊助(大崎) 22・23代 松本三郎(大鷲) 9代 吉岡市太郎(伊藤) 11代 相原倉之助(柏木)		
文化財愛護	7月20日(土) 午後1時 現地集合(雨天中止・代替8月3日(土)午後1時) 上岩橋貝層・横穴古墳・古松石碑の草刈り清掃		
史談会	休	17日(土) 午後1時30分 酒々井町の民俗(中央公民館)	14日(土) 午後1時30分 酒々井町の民俗(中央公民館)
郷土史 講座	8月24日(土) 午後1時30分 中央公民館視聴覚室 「考古学から見た古代の印旛地方」 教育委員会と共催 講師 国立歴史民俗博物館教授 白石太一郎先生		
県外 見学会	9月19日(木) (千葉交通バス利用) 午前 7:30-光ドライブイン 7:35-日栄クリーニング前 7:40-中央公民館前出発 (定員90名) 申込受付7月10日(火)9時より 埼玉栗高麗神社-聖天堂-高麗王墓- 川越喜多院-蔵づくり街並-平林寺 会費 ¥4,500-車代・中食・見学科含む		

見学会案内

県外見学会

9/19

◎高麗神社は千余年前に高麗王より渡来して日本文化に貢献した高麗王中かりの神社で、聖天院はその墓があります。

◎喜多院は勅願によって慈覚大師の創建した古刹で、同、県の文化財が多くあり、また三代将軍家光の誕生の寺とも知られています。

◎平林寺は、臨済宗の古刹で野火止用水と、武蔵野の面影を残す国指定林「平林寺境内林」があります。

名勝探訪

7/21 9/22

◎七月は上野公園の東照宮その他の文化財めぐりと、国立博物館の見学をいたします。

◎九月は浅草寺から隅田川に架けられた新名所、桜橋歩道橋を渡り、七福神めぐりを計画いたしました。



※気軽に、でも楽しい探訪の会です。ご参加をお待ちしております。

新入会員紹介



よろしく

編集後記

- 467 枝志子 み純 幸
- 468 初重 俊心 敏光
- 469 福田 村坂 川屋
- 470 福林 西宮 小松
- 471
- 472

編集委員会が発足して第二回目の会報発行の運びとなりました。なるべく多数の会員の方からの記事や御意見を寄せたいと思ひ、編集委員一同が手分けして、お願ひにあがり、皆様が快くお引受け下さいました。今後とも出来るだけ沢山の会報発行を期して、ご協力をお願いいたします。